NPO法人わっこ自立福祉会発

共に生きる街づくりマガジン

わっこ新聞

特定非営利活動法人
わっこ自立福祉会
上田市保野８３０～１
ＴＥＬ　０２６８（３９）４５６８
ＦＡＸ　０２６８（３９）４５６６
ＭＡＩＬ　www.12.ueda.ne.jp
発行責任者　武田幸作

始めに

当法人事業の概要を簡単に紹介します。

わっこ倉升作業所は現在約２０名の利用者さんが日々仕事に勤しんでいます。朝、出勤してから始まるのは、利用者全員でのラジオ体操。りんごの木の香りに包まれて、前を向く人、向かい合い会話を楽しむ人、それぞれ自分好みの体系で体操を行い楽しいひと時を過ごし、ミーティングのために円陣を組みます。輪に加われず遠巻きに過ごす人もいますが、その時点で作業の担当を伝えます。がリールで、八人位の人が就くので、一人一人点呼して確認し、続いてオーリングには二人から三人の担当者を点呼し確認します。

後の利用者さんには、その日の仕事を発表し担当を指名します。更に連絡事項と注意事項を告げ、ミーティングを終了します。今回は、三つの作業内容の紹介を行いたいと思います。

わっこ倉升
朝はラジオ体操から

倉升だより

わっこ自立福祉会作業所

・始めにリール並べ作業を紹介します。

建設現場では、コンクリートを打つ際に鉄筋を組み、ずれないように、リールに巻いたワイヤーで結束します。このワイヤーを巻き取る前のリールを段ボール箱に四千個並べます。『わっこ倉升』で取り扱う製品は三種類です、海外向けリール三号と国内向け一号と二号の併せて三種類を年中絶え間なく作業しています。ベテランのＭさんに

写真はリールの箱詰め作業に集中しているＭさん

ただ今利用者さん募集中

・次に紹介するのはオーリング組み込み作業についてになります。白いプラスチックの成型された型に、黒いゴムのリングを組み付けて仕上げます。このプラスチックの型は、自動車のブレーキに使われる部品です。この日はベテランのＫさんと新人のＭ君が担当しますなると、毎日十ケース以上並べます。

写真はＫさんがオーリングの作業をしています。

・今回最後に紹介するのは、ボールペンの鞘を梱包する作業について。成型された鞘（ボールペンのボディ）二千本を一定方向に向け段ボール箱に並べて梱包します。この日は、ＮさんとＳ君で、Ｎさんはこの作業が大好きです、Ｓ君は上田養護学校から六日間、職場実習体験で訪れています。彼もＮさんと同様にこの作業を得意としています。

みなハウスreport

わっこ倉升と同じく上田原にも就労支援Ｂ型の施設があります。名称は「みなハウスわっこ」です。みなハウスではより生きづらさを感じている障がい者が日々内職に励んでいます。

仕事への向き合い方・姿勢を学びながら、優しく、楽しく、時に厳しく、職員を始め利用者全員で各自の目標に向かって内職に勤しんでいます。みなハウスでは、美味しい手作りの食事が昼に振る舞われます。ちょっと天邪鬼なＹさん、喋ると止まらないＳさん、意外と明るいＡちゃん、内気なＮさん、料理の上手なＤさん等、個性あふれるメンバーさん達と共に、明るく和気あいあいと朗らかに日々過ごしています。

楽しいリクリエーションもあるよ

今回、紹介させていただいた作業以外にも他の作業もありますので、他の作業はまた次回にご紹介させていただきます。

梱包作業を楽しんで行っているＮさんとＳ君

気軽に遊びに来てね

わっこ自立福祉会の就労支援Ｂ型事業所のご紹介でした。

『わっこ新聞』発行にあたり.

私たち「わっこ自立福祉会」では当法人の活動を通して関係各位及び各障がい者団体のご協力の下、障がい者や地域住民にも住よい優しい街づくりにしたいとの思いから、当事者の視点から街並みづくりを考えそして提案をして行きたいと思います。

６年が明け一昨年の６月２４日に、しなの鉄道天神踏切で視覚障害を持つ大久保さんが、快速列車にはねられ死亡した。その後７月２２日に検証を行い上田市に提出をした。上田市は関係機関に呼びかけ、８月２５日に現場検証を行った。「点字毎日」の全盲の記者である佐木さんも９月になり現場を歩き検証をおこなった。１０月２８日に歩車分離信号と交差点の点検をおこなった。昨年９月上田市議会でも取りあげられ、１０月に交差点の点字ブロックの危険箇所の改修、視覚障がい者への情報提供のあり方も論議され、交差点の信号機は警察の管轄なので働きかけを継続する旨答弁した。上田市視覚障がい者協会も積極的に動きこの問題を教訓にしながら条例制定に向けて活動をしていく事も確認した。昨年１１月１７日に上田市視覚障がい者協会の協力を得てどこで大久保さんが混乱したのか、本当に自分立ちが住む街が安全に安心に過ごせる街なのかを車いす障害者共に検証を行った。

特定非営利活動法人
わっこ自立福祉会
武田幸作

NPO法人わっこ自立福祉会発

共に生きる街づくり マガジン

わっこ新聞

特定非営利活動法人
わっこ自立福祉会
上田市保野８３０～１
TEL　０２６８（３９）４５６８
FAX　０２６８（３９）４５６６
MAIL　www.1ueda.ne.jp
発行責任者　武田幸作

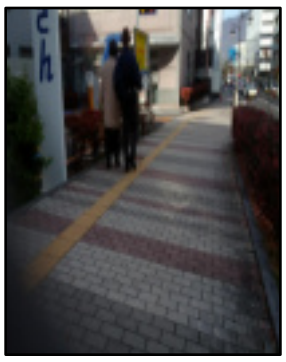
上田市駅前でのミーティングからスタート

私たちは、昨年十一月に視覚障がい者及び車椅子ユーザー、介護者と記録員そして写真班とで二つのチームに分かれて、街並み点検を行いました。

点検コースは二つ、一つは上田駅お城口からホテルルートイン前、しなの鉄道高架下から、アリオ北側を通りぬけ天神踏切を渡り城下公園。もう一つは、温泉口からアリオへと向かい天神踏切を渡って公園へと向かうコースです。そのリポートを二回位に分けてお知らせします。

今回はお城口からのレポートです。

⇓早速、破損個所を発見、場所は竹風堂前の歩道です。



⇓駅前交差点より天神二丁目交差点に向かいます。

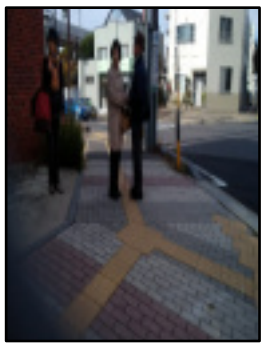
⇓東横イン前に業者のトラックが点字ブロック上に駐車してます。視覚障がい者の男性はコーンにつまずきトラックにぶつかりそうです。

元八幡屋ビル

ビルの前は、歩道とビルの敷地との境界線が分からずフラフラと不安定な歩行となってます。

⇓こちらには、ごみ用の網が無造作に歩道上を占有してます。

⇓歩道の点字ブロック上にある点検口、視覚障がい者の白杖が引っ掛かりつまずきかけました。



⇓そして天神２丁目の交差点へと、こちらでは点字ブロックの配置がよく分からずに少し戸惑うと視覚障がい者の方がおっしゃってました。横断歩道に音声案内は設置されてましたが車等の走行音でかき消されて、『どの方向に渡れるのか、どの方向に何があるのかわからない』とおっしゃってました。

⇓ニューパール通り交差点の直前、点字ブロックが途切れるような状態でマンホールがあり段差にもなっている構造、視覚障がい者の方はここでもつまずき困っています。

⇓ニューパール通り三叉路の構造は、片流れそして段差となっており車椅子を押している介助の方が横断するのに苦労してます。また、片流れの為に車椅子ユーザーの女性は道路側に倒れそうになり不安そうです。

⇗アリオ近くの信号の無い交差点、視覚障がい者にとっては非常に危険な交差点、音声案内が無く、信号もない。

⇓アリオ北側歩道に設置されているポールにぶつかりそうになりました。

⇓そして、事故現場の天神の踏切に到着。

⇓事故現場の天神踏切の横断歩道２枚目危うく線路内に入りそうに

今回の街並み点検には市議会議員の池上喜美子さんに参加していただきました。

お忙しい中、時間を作って参加していただき誠にありがとうございました。

以下は池上先生のリポートです。

街並み点検に参加して

今年は暖冬と言われてますが、さすがに十一月の中旬になると、天気が良くても吹く風は晩秋の寒い風です。そんな土曜日の午前中、障がい者団体の皆様と共に、初めて街並み点検に参加させて頂きました。

一昨年、アリオ近くの新しくできた踏切で、視覚障がい者の方が快速列車にはねられて死亡するという痛ましい事故がありました。あらためて心よりお悔み申し上げます。

上田駅お城口に集合して、２コースに分かれ事故の再発防止のための点検、検証を行いました。私は、温泉口から踏切へ行くコースに参加しました。

車椅子の方とエレベーターに乗って温泉口に行くところから出発です。降りてから、駅のトイレやエレベーターも点検しました。始めにエレベーターやトイレがどこに設置されているか、音声案内があれば都合がいいことを教えて頂きました。点字ブロックはあっても、その向きが正確でないと横断歩道を渡れない事も知りました。歩車分離信号の交差点を中心に歩きましたが駅近くでありながらも、視覚障がい者の方の為に必要な音声ガイドがない信号機もありました。視覚障がい者の方がどうやって渡ればいいのか、心配でなりません。

また、歩行者道路についても舗装が傷んでいる所も多く、車椅子の方は、少しの段差でも転んでしまうことを考えると早急な補修が必要だと感じました。

行政もただ手をこまねいているだけではなく、障がい者の方と共に点検し、いくつもの改善、改修されたところもあると伺い、ほっとしましたが、まだまだ十分ではありません。

私も障がい者の皆さまと共に歩くことで、本当に多くの気づきがありました。

昨年の踏切の事故についても、事前に、新しく踏切ができたこと、道路ができたことの情報が入っていれば、防止できたかもしれない。何より情報が大事だともお聞きしました。行政がどうやってきめ細かく情報を提供するかという、大事な視点も教えて頂きました。

当事者の方の声を聞く、共に行動するということの重要さを改めて認識した次第です。

障がい者の方々が、安心・安全に生活できる地域は、高齢者や子どもたちにも優しいユニバーサル社会です。

全ての市民が幸せに暮らせる社会を目指して、現場第一で取り組んでいきたいと決意しました。

貴重な経験をさせて頂き大変にありがとうございました。

上田市市議会議員
池上喜美子